

松井会長（広島市長）の挨拶文

10月24日に核兵器禁止条約の批准国が50か国に達し、90日後の発効が確実となりました。この慰霊碑の前に立ち、被爆者の方々の思いをしっかりと受け止めた人類としての誓いである碑文「過ちは繰返させぬ」の実現に向けた大きな一歩が踏み出されたと感じています。

しかし、世界に未だ1万3千発余りの核兵器が存在していることで、いつ何時、原爆の悲劇が繰り返されるかわからない状況は変わっていません。

本日は、核廃絶！ヒロシマ・中高生による署名キャンペーン参加高校生とユースピースボランティアがここに集い、今後の活動に向けた決意を述べますので、彼らの行動によって、核兵器のない世界こそがあるべき姿であるということが世界の人々の共通認識となり、さらに日常生活の中での平和を追求する行動に繋がることを心から願っています。

原爆の犠牲になられた皆さん、若者たちの情熱を受け止め、今後も彼らを見守ってください。

それでは広島で平和活動を行っている青少年の代表10人が日本語と英語で発表します。聞いてください。